十二支妖異譚

神様になれなかった動物たち

［じゅうにしょういたん］

福井栄一

祟って、化けて、恩返し。

神話、伝説、民話から
読本、歌舞伎まで

仏魔一如（ぶつまいちにょ）が人間だけに当てはまると考えるのは、早計である。子、丑、寅……と小児にさえ親しまれている十二支の生きものたちも、いつも無垢で愛らしいとは限らない。たまさかに、妖しく不気味な貌（かお）を見せる。本書では、その刹那を鮮やかに切り取った話ばかりを集めた。怖いことは、往々にして愉しい。本書の通読が、その好例とならんことを。

〜〜〜福井栄一

歌川芳虎「家内安全ヲ守十二支之図」［太田記念美術館所蔵］
原画の賛には、「う（卯）きたつ（辰）や　虎（寅）にをき稲（亥子）
とり（酉）込み（巳）て　もう（丑）うま（午）いぬ（戌）る
ひつじ（未）さる（申）ころ」とある。

十二支妖異譚（じゅうにしょういたん）
神様になれなかった動物たち

ISBN9784-87502-522-1
B6判変型丸フランス装／300ページ
定価＝本体1,800円＋税

工作舎

福井栄一［ふくい・えいいち］
上方文化評論家。1966年、大阪府吹田市出身。京都大学法学部卒。京都大学大学院法学研究科修了。法学修士。四條畷学園大学看護学部客員教授。京都ノートルダム女子大学国際言語文化学部および関西大学社会学部の非常勤講師。上方の芸能や歴史文化に関する講演、評論活動を精力的に行い、マスコミ出演も多数。本書が通算34冊目の著作となる。剣道二段。
www7a.biglobe.ne.jp/~getsuei99

『十二支妖異譚』目次より

子（ね）

鼠の章

●鼠、指を噛む●頼豪鼠のこと●鼠の巣●大国主命（おおくにぬしのみこと）と鼠●黒島鼠●呑んだものは何か●鼠の祝言●赤子を引く鼠

丑（うし）

牛の章

●牛へ化（げ）する女●牛の生皮●牛飼の知恵●霊牛のこと●罪作りな蒲団●鬼同丸（きどうまる）の待ち伏せ●母牛の怨み

寅（とら）

虎の章

●雪山に消えた息子●荒野で虎に遭う●鵺（ぬえ）退治●虎の爪●虎の前世●虎魄（こはく）のこと●寅薬師のこと

卯（う）

兎の章

●生皮を剥がれた兎●兎の発心●兎は神●波に兎●娘の声●濡れ衣●月と兎

辰（たつ）

龍の章

●梵鐘を愛する龍●登龍のこと●龍穴のこと●玄宗皇帝の笛●龍王の油断●挨拶に来た龍●龍の目撃者

巳（み）

蛇の章

●熱湯を注がれた蛇●蛇の愛欲●蛇酒のこと●魚売りの女の秘密●腹中に潜んでいたもの●蛇の執念

午（うま）

馬の章

●鞭打たれた僧●提婆馬風（だいば）のこと●馬の悪態●幻術使いと馬●物を言う馬●馬殺しの報い●馬、足を損ねる

未（ひつじ）

羊の章

●羊の舌を抜いた男●殺した羊の正体●羊乳と地生羊（ちせいよう）●少女の懺悔

申（さる）

猿の章

●女猿の嫉妬に遭った男●鞠（まり）の精の正体●円観上人の運命●猿、鷲を殺す●猿になった子ども●猿の狙うもの

酉（とり）

鳥の章

●頭に生えてきたもの●鶏卵を焼き喰った者●一本足の鶏●鶏の宵泣きは凶事か●剃刀が立たぬ訳

戌（いぬ）

犬の章

●この人は私のもの●不孝の子、犬と化す●怨みは二倍●尼の怪異と犬●狂犬の害●六本足の犬

亥（い）

猪の章

●左右が生死の分かれ目●因果応報の量（はか）り難さ●源為朝と大猪●地名譚四題●たばかられた僧●火牛の計ならずし

日本の伝統に映る自然 ◉ 工作舎の本

江戸博物文庫

花草の巻

工作舎 編

江戸期植物図鑑の最高傑作『本草図譜』から紹介。日本ならではの美意識が宿る斬新な構図の草や可憐な花の絵は、さながら「江戸のボタニカル・アート」。

●B6判変型上製●192頁
●定価 本体1600円＋税

江戸博物文庫

菜樹の巻

工作舎 編

江戸期植物図鑑の最高傑作『本草図譜』後半から紹介。「食」をめぐる好奇心が生んだ、食べられる植物の傑作図集。原産地や薬効も説明。

●B6判変型上製●192頁
●定価 本体1600円＋税

しめかざり

森須磨子

全国を訪ねた著者が、飾りを外した藁の造形の美しさを、写真とともに紹介。百年変わらないその姿に込められた、土地の祈りと人々の願いを読み解く。

●A5判上製●200頁
●定価 本体2500円＋税

江戸博物文庫

鳥の巻

工作舎 編

江戸を代表する14篇の鳥類図譜から紹介。身近な鳥はもちろん、異国の鳥や空想の鳥まで色鮮やかに描かれた様は、まさに「翼を持った宝石」。

●B6判変型上製●192頁
●定価 本体1600円＋税

江戸博物文庫

魚の巻

工作舎 編

江戸期の彩色魚類図版から紹介。恵みの場所であり異界でもある水面下に棲まう魚たちが、その色と形で想像力を刺激する。食材としての魅力も解説。

●B6判変型上製●192頁
●定価 本体1600円＋税

怪奇鳥獣図巻

伊藤清司 監修・解説
磯部祥子 翻刻

古代中国の博物誌『山海経』からの引用を中心に、江戸の無名の絵師によって描かれた異様異体の妖怪が登場する極彩色絵巻物。オールカラー。

●A5判変型上製●152頁
●定価 本体3200円＋税

工作舎

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル12F
Tel. 03-5155-8940　Fax. 03-5155-8941
www.kousakusha.co.jp　saturn@kousakusha.co.jp